

大仙ふるさと博士 記録用紙記入例

大仙ふるさと博士の申請

ハローパスポートと一緒に学校に提出してください。

令和 元年 4 月 2 日 (日)	訪問先 (○○花火会社)
ふるさと博士	<input checked="" type="checkbox"/> 1pt: 参加(見学・説明) <input type="checkbox"/> 2pt: 体験 <input type="checkbox"/> 3pt: 貢献
グローバルジュニア	<input type="checkbox"/> 1pt: 外国人との交流 <input type="checkbox"/> 2pt: 案内、PR(日本語) <input type="checkbox"/> 4pt: 案内、PR(外国語)
活動したこと	花火工場を見学させてもらいながら、会社の人から説明を聞いた。
分かったことやふしぎに思ったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・花火を作る工程ごとに別々のたくさんの人が働いていた。 ・花火を作る職人になるためには、どんなことを勉強しておけばいいのか。
	学校認印

ふるさと博士とグローバルジュニア・マイスター両方の申請

全ての欄に記入してLOGBOOKと一緒に学校に提出してください。
(ふるさと博士は3ポイント、グローバルジュニアは2ポイントか4ポイントのどちらかになります。)

令和 元年 4 月 29 日 (日)	訪問先 (国際花火シンポジウム)
ふるさと博士	<input type="checkbox"/> 1pt: 参加(見学・説明) <input type="checkbox"/> 2pt: 体験 <input checked="" type="checkbox"/> 3pt: 貢献
グローバルジュニア	<input type="checkbox"/> 1pt: 外国人との交流 <input type="checkbox"/> 2pt: 案内、PR(日本語) <input checked="" type="checkbox"/> 4pt: 案内、PR(外国語)
活動したこと	国際花火シンポジウムで、外国人観光客の道案内をした。
分かったことやふしぎに思ったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・大仙市の花火は海外からも注目されていることが分かった。 ・海外の花火は日本の花火とどこがちがうのだろうか。
	学校認印

学校ではここに認印を押した後、ふるさと博士の表紙とLOGBOOKに、ポイントの数だけ認印を押します。グローバルジュニア両方のポイントが認定されます。

ここには活動のポイントについて、当てはまるものにチェックを入れます。

○1pt(ポイント)は参加した、見学した、説明を聞いたなどの活動です。

(例) 地区の運動会を見に行った。

○2pt(ポイント)は、訪問先で体験活動を行った場合です。

(例) 地区の運動会に出場した。

○3pt(ポイント)は、自分から訪問先や地域に貢献するような活動(主催者側として働くなど)をした場合が当てはまります。

(例) 地区の運動会で役員として働き、運営を頑張った。公民館等で地域の人に伝統的な踊りや歌を披露した。旧池田氏庭園で観光案内ボランティアとして働いた。

学校では

内容がしっかりと書かれているかどうかチェックして、認印を押します。その後、ふるさと博士の表紙にポイントの数だけ認印を押します。これでふるさと博士のポイントが認定されます。

グローバルジュニア・マイスターだけの申請

(校外でALTやCIRの先生、外国人とコミュニケーションした場合)

3つの欄にだけ記入してLOGBOOKと一緒に学校に提出してください。
(この活動は1ポイントのみとなります。)

令和 元年 5 月 13 日 (土)	訪問先 ()
ふるさと博士	<input type="checkbox"/> 1pt: 参加(見学・説明) <input type="checkbox"/> 2pt: 体験 <input type="checkbox"/> 3pt: 貢献
グローバルジュニア	<input checked="" type="checkbox"/> 1pt: 外国人との交流 <input type="checkbox"/> 2pt: 案内、PR(日本語) <input type="checkbox"/> 4pt: 案内、PR(外国語)
活動したこと	国際花火シンポジウムで、外国人観光客の道案内をした。
分かったことやふしぎに思ったこと	
	学校認印

学校ではここに認印を押した後、LOGBOOKに、ポイントの数だけ認印を押します。これでマイスターのポイントが認定されます。